

2 環境施策進捗状況調査結果

基本目標1 自然を身近に感じられる“まちづくり”

■ 個別目標① 樹林地や農地を守り、育てる

● 樹林地・草地などの保全

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
樹林地の保全に市民などが参加できる仕組みづくりを進めます。	産業振興課	1月に地権者や市民を募集し竹林の伐採・枯れ木の除去作業、ピオネスト作りを実施。(約1,000㎡)	地権者をはじめ、草深の森に関心を持つ人々に協力を仰ぎ、作業を通じ広く意見等を聴取できた。
樹林地の減少につながる開発等の抑制を呼びかけます。	産業振興課	伐採等の面積の抑制や、植林の指導を行った。 また、広報による周知を1回実施した。	適切な指導を行ってきたが、伐採等の面積が増えている。
緑地保全地区の指定による樹林地の保全を検討します。	都市整備課	平成19年度は当初より事業計画なし。	現状では、市街地周辺の樹林地が多く残っており、ここが開発により失われる情勢ではないため、保全の検討に至っていない。
里山の保全・活用のモデル事業を進めます。	都市整備課	公園等の引継が予定より遅れたため未実施	公園等の引継が予定より遅れたため未実施

● 農地の保全

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
農地の保全を図るため、必要な制度や体制づくりを進めます。	産業振興課	農業振興地域整備計画の全体見直し作業を行った。	農業振興地域整備計画の全体見直し作業を行い、農地の有効利用及び保全を推進することにより、景観形成及び環境保全を図った。
環境負荷の少ない環境保全型農業を支援します。	産業振興課	印旛郡市及び市内農業団体が実施する品質向上及び減農薬栽培等の研修等の推進を行った。	品質向上及び減農薬栽培等の研修等の推進を行うことにより環境負担の少ない環境保全型農業を支援した。
地場農産物の品質向上など、地域の農業振興を支援します。	産業振興課		
農業後継者の育成を支援します。	産業振興課	複式農業簿記・パソコン講習会を行った。 参加者:8名	複式農業簿記・パソコン講習会により、農業経営の内容を把握・分析し将来の展望を見出すことにより効率的な農業経営が図られる。
農産物直売所の整備を検討・推進します。	産業振興課	現存する農産物直売所への支援を実施した。	販路拡大及び地元の新鮮で安全な農作物の普及を図るため、直売所施設は必要であると考えます。
生産緑地地区や農用地区の指定を継続します。	都市整備課	生産緑地地区の指定を継続した。 (26,577㎡)	生産緑地地区の指定を継続した。
	産業振興課	農業振興地域整備計画の全体見直し作業を行った。	農業振興地域整備計画の全体見直し作業を行い、農地の有効利用及び保全を推進することにより、景観形成及び環境保全を図った。
農業用水路の水質保全と生き物の生育・生息環境としての保全を図ります。	生活環境課	自然観察会を4回実施し、浦部地区、船穂地区などの谷津田環境の保全及び動植物の保全について普及啓発を行った(参加者:123人)。ただし、小林地区の探検隊は、人数不足のため中止。	河川を中心に自然観察会を開催し、参加者に生息する生物の実態及び河川の状況を確認してもらうことができた。

● 樹林地や農地とのふれあいの創出

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
市民が森の中で遊び、森林浴や休養することのできる、「市民の森」の充実を図ります。	産業振興課	草刈1000㎡。又、ボランティアと森林整備を行った。	草刈作業やボランティアの協力により森がより利用しやすいようになった。
地域森林計画対象民有林などで、市民などに樹林の大切さを啓発するための事業を進めます。	産業振興課	補助金の交付により、下草刈りなど延べ面積で1.08haを実施した。	森林の育成を図り機能を高めた。
市民などが遊休農地を農業体験の場として活用できるように、その手法を検討・協議します。	産業振興課	市民ボランティア等により遊休農地を1.4ha解消した。	遊休農地の解消により農業生産基盤である農地の有効活用が図られた。
消費者の農業理解を図るため、農業イベントや交流会などを開催・支援します。	産業振興課	農業フェアへの協力やほくそう春まつりへの協力を行い、生産者と消費者の交流を図った。	生産者と消費者の交流を行い、安全・安心な顔の見える農業を推進、農業理解を深めていただくことによる環境保全に対する意識の高揚を図った。
土や自然に親しみ、市民と農業のふれあいの場となっている「ふるさと農園」の充実を図ります。	産業振興課	ふるさと農園を182人の方が利用した。	農業にふれあうことにより農業を身近に感じていただき、環境保全に対する意識の高揚を図った。
観光農園や田植、稲刈りなどの体験ができる「体験農園」などの事業を進めます。	産業振興課	事業実施なし	農業体験などを通じて、農業に対する理解と関心を深めてもらう必要があると考える。

■ 個別目標② さまざまな生き物を守る

● 生き物の生育・生息環境の保全・創出

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
公共施設などの整備に関する計画策定やほ場整備事業実施にあたっては、自然環境への配慮を充分行います。	関係各課	事業実施なし	該当する計画等の策定や事業が年度当初よりなかった。
野鳥の良好な生息地であり、水質の浄化にも役立っている手賀沼や手賀川のヨシ群落などの植生の保全を図ります。	土木管理課	事業実施なし (平成19年度より建設課から移管)	市が管理する河川がないため、単独事業はできない状況である。
可能な部分には、ヨシ群落、マコモ群落など、水際の植生の回復を図り、市民参加によるヨシやマコモの刈り取り等、管理できるシステムを構築します。	生活環境課	手賀沼水環境保全協議会の水生植物再生事業としてガシャモクの育成を手賀沼流域の小・中学校に継続して実施していただいた。また、下手賀沼流域の水草類分布状況調査が実施された。	継続してガシャモクの育成を実施していただくことができた。 水草の分布状況調査については、その成果品をいただいた。
希少な野生生物の生育・生息環境を守るため「(仮称)野生生物保護地域」の指定や「(仮称)希少生物保護条例」の制定を検討します。	生活環境課	市内全体の魚類・両生類の生息状況調査(モニタリング調査)を実施した。	モニタリング調査を実施し、市民が調査員になることにより、自然環境及びそこに生息する動植物をみてもらうことにより普及啓発ができた。
生き物の密猟や本来の生態系を侵食する外来種の移入などに対し、監視を行うとともに、市民等への普及啓発を図ります。	生活環境課	広報及びチラシに外来生物に関する情報を掲載し、普及啓発を行った。	外来生物に関する情報提供は、広報、チラシによるものとなり、今後ホームページにも掲載する必要がある。

● 調査・観察会などの継続実施

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
自然観察会などを継続的に開催し、生き物についての意識啓発を図ります。	生活環境課	自然観察会を4回実施し、浦部地区、船穂地区などの谷津田環境の保全及び動植物の保全について普及啓発を行った(参加者:123人)。ただし、小林地区の探検隊は、人数不足のため中止。	河川を中心に自然観察会を開催し、参加者に生息する生物の実態及び河川の状況を確認してもらうことができた。
「印西市環境マップ」を作成し、普及啓発を図ります。	生活環境課	環境指標生物のモニタリング調査(魚類・両生類)を開催した。 参加実績:105名	市民参加型の調査により、市内全域の魚類・両生類の生息状況を調査することができた。
生き物のモニタリング調査を進めます。	生活環境課	環境指標生物のモニタリング調査(魚類・両生類)を開催した。 参加実績:105名	市民参加型の調査により、市内全域の魚類・両生類の生息状況を調査することができた。

■ 個別目標③ 親しみのある水辺をつくる

● 水辺環境の保全

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
改修工事に多自然型工法を取り入れるなど、調整池や河川の自然の回復・整備を促進します。	土木管理課	(平成19年度より建設課から移管)	河川の改修工事の際には、多自然型工法を実施すよう関係機関に要望した。 (生活環境課)
河川や湖沼の水質の保全を図ります。	生活環境課	市内の7河川の水質を年4回測定した。水質の経年変動把握し、河川及び湖沼の水質保全の監視を行なった。	市内の7河川の水質調査を実施し経年的変動を把握することができた。また、市民に水質調査結果を公表した。
市民などによる水辺環境の維持・管理を支援します。	土木管理課	平成19年10月25日、木下小学校と大森小学校の協力を得て、河川清掃活動を実施。 (平成19年度より建設課から移管) (参加人数:113名 ごみ量:20kg)	木下・大森小学校の協力を得て、ゴミ拾いを実施することができた。
市内に存在する湧水の数と位置を把握します。	生活環境課	湧水情報について、広報による情報提供を実施しなかった。	湧水に関する情報は、近年得られていない状況である。
周辺の樹林地の保全・再生に努めるなど、湧水の保全に努めます。	生活環境課	現在得られている巨樹・巨木の情報を基に現地調査を実施した。 (現地調査件数:63件)	現在得られている巨樹・巨木の情報を基に現地調査を実施した。
農業用水路の水質保全と生き物の生育・生息環境としての保全を図ります。	生活環境課	自然観察会を4回実施し、浦部地区、船穂地区などの谷津田環境の保全及び動植物の保全について普及啓発を行った(参加者:123人)。ただし、小林地区の探検隊は、人数不足のため中止。	河川を中心に自然観察会を開催し、参加者に生息する生物の実態及び河川の状況を確認してもらうことができた。

● 水辺とのふれあいの場の創出

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
調整池などを利用した親水公園の整備を進め、野鳥観察、植物観察、昆虫観察等自然観察のできる場所の設置を検討します。	都市整備課	竹袋地区の調整池周辺の施設整備実施(パーゴラ・ベンチ・植栽・園路工事)	治水はもとより、池周辺に植栽等整備をしたことで市民の憩いの場を提供することができた。
水辺に近づけない調整池では、外周部から野鳥や植生を見て楽しむことができるような工夫をします。	生活環境課	戸神の調整池外周部で鳥類等を対象とした自然観察会を実施した。 (参加者:14名)	県立北総花の丘公園内に整備された野鳥観察デッキ等より飛来している野鳥の状況を確認してもらい、興味を持っていただくことができた。
河川沿いの遊歩道などの整備を促進します。	建設課	事業実施なし	市道整備を優先するため遊歩道整備は行わない。
弁天川での「ふるさとの川づくり事業」を促進します。	土木管理課	事業実施なし (平成19年度より建設課から移管)	県が行なう弁天川(六幸橋上流左岸)の護岸修景整備が休止
「印西市環境マップ」を作成し、普及啓発を図ります。	生活環境課	環境指標生物のモニタリング調査(魚類・両生類)を開催した。 参加実績:105名	市民参加型の調査により、市内全域の魚類・両生類の生息状況を調査することができた。

■ 個別目標④ まちの緑を増やす

● 民有地内の緑化

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
「花と緑のまちづくり登録」の制度化や「ガーデニングコンクール」の実施など、住宅地の緑化を要請します。	都市整備課	平成19年度当初より事業計画なし。	制度の策定や要請を実施できなかった。
工場敷地内の樹林、湧水などの保全や街並み景観に配慮した緑化など、工場の緑の保全と緑化を要請します。	都市整備課	開発行為については開発面積の5%以上の面積の緑化を指導した。	指導により開発行為において、5%以上の面積の緑化が図られた。
プランター設置、駐車場緑化など、商業・業務地の緑化の支援策を検討します。	都市整備課	平成19年度当初より事業計画なし。	支援の検討を実施できなかった。

● 公用地内の緑化

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
市民の日常生活に密着した身近な公園、遊戯・運動などのための総合公園を計画的に整備します。	都市整備課	体育館建設に向け関係機関等との調整を行った。 【松山下公園】	公園施設の充実に向け、主な残事業に目途を付けることができた。
		貝層見学施設整備 階段、フェンス、園名板、樹名板の設置 【木下万葉公園】	貝層見学施設整備等を行うことにより、公園施設の充実が図れた。
公園や公共公益施設の整備には、大気浄化能力の高い「環境木」を優先的に選定します。	生活環境課	平成19年度は公用地内での植樹・植え替えの予定がなかった。 環境木に関する情報収集を行った。	環境木に関する情報は少なく、関係課に情報は提供することができなかった。
公共施設内などは、緑化推進のモデルとなるような緑化を行い、維持管理には除草剤・殺虫剤・殺菌剤を必要以上に使用しません。	関係各課	害虫の発生状況を確認しながら害虫駆除を行なったため、薬剤使用量が減少した。	薬剤による害虫駆除を最小限に留め、薬剤の飛散を抑制した。また、樹木の剪定を行なうなど、害虫の発生を抑える環境を整えた。
ボランティア団体やNPOの育成を図り、市民参加による公園や緑地の管理運営の充実を検討します。	都市整備課	市民参加により公園等の散乱ごみ等が減少するとともに環境美化が保たれた。	市民参加により公園等の散乱ごみ等が減少するとともに環境美化が保たれた。

● 緑化推進のための人づくりと情報発信

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
広報紙、パンフレット、インターネットなどにより、花や緑に関する情報提供を行います。	都市整備課	県立花の丘公園の情報を広報いんざいに掲載し、市民への情報提供を図った。	県立花の丘公園の情報を広報いんざいに掲載し、市民への情報提供を図った。
県立北総花の丘公園の「花と緑の文化館」などにおいて、花と緑に関する講習会の開催を促進し、関心を高めます。	都市整備課	県立花の丘公園の情報を広報いんざいに掲載し、市民への情報提供を図った。	県立花の丘公園の情報を広報いんざいに掲載し、市民への情報提供を図った。
さまざまな緑化活動グループの育成を図り、グループ間の交流の機会を設けることにより、活動の活性化と充実を図ります。	市民活動推進課	公益信託印西市まちづくりファンドを設立し、環境関連市民活動団体の1件について助成を行った。	環境保全の重要性を、市民活動を通じ、市民に対し一定のアピール・支援をおこなうことができた。

■ 個別目標⑤ 歴史や文化を大切にす

● 文化財の保存

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
木下貝層、宝珠院観音堂など文化財指定地の保護・保存を図ります。	生涯学習課	管理者・所有者等の協力を得て史跡の清掃・管理を行った。	文化財指定地の保護・保全により、環境保全を行った。
文化財の調査研究を推進します。	生涯学習課	国天然記念物「木下貝層」の説明板及び境界杭の設置を行った。	当初の目標を達成できた。

● 巨樹・巨木などの保全

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
巨樹・巨木の実態調査を実施するとともに、周辺環境を含めた保全活動を推進します。	生活環境課	現在得られている巨樹・巨木の情報を基に現地調査を実施した。 (現地調査件数:63件)	現在得られている巨樹・巨木の情報を基に現地調査を実施した。

● 歴史的文化的環境とのふれあいの場の創出

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
「文化財ガイドブック」により、歴史や文化についての普及啓発を図ります。	生涯学習課	木下街道膝栗毛事業により、小林、木下地区を探訪し文化財、自然環境にふれる機会等を提供した。	歴史、文化の諸事業を通じて普及啓発を行った。
歴史文化財を利用した歴史公園の整備を検討します。	都市整備課	貝層見学施設整備階段、フェンス、園名板、樹名板の設置。	貝層見学施設整備等を行うことにより、公園施設の充実が図れた。

基本目標2 安心して生活できる“暮らしづくり”

■ 個別目標⑥ 空気をきれいにす

● 大気汚染対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
低公害車や公共交通機関の利用促進に向け呼びかけを行います。	生活環境課	引き続き、平成19年11月1日～平成20年1月31日までの期間、「アイドリングストップ等による大気汚染物質削減計画」を実施した。また、広報に掲載し、市民への普及啓発を図った。 広報掲載回数:1回	前年度同様の計画を策定し、庁内に啓発を図り、多くの職員に協力を得ることができた。 また、広報で市民に呼びかけることにより意識啓発を図ることができた。
アイドリングストップなど、環境にやさしい運転の普及啓発を図ります。	生活環境課	千葉県で実施している窒素酸化物に係る冬季対策①自動車使用を控える②アイドリングストップなどの実施③ノーカーデーの実施を広報により普及啓発を図った。 広報掲載回数:1回	広報で市民に呼びかけることにより意識啓発を図ることができた。
公用車やふれあいバスに低公害車を導入します。	管財課	普通乗用車5台入替。	古い車を低公害車への入替えを行った。
工場・事業場などからの排出ガス抑制に関する普及啓発と指導を行います。	生活環境課	工場・事業場等で焼却炉等を使用していた場合、指導を行い、大気汚染の防止を図った。	事業場等への指導を行ったことにより、大気汚染の防止に繋がった。
小型焼却炉の適正使用を含め、野焼き防止の指導を行います。	生活環境課	広報いんざいによる野焼き行為禁止の普及啓発を行った。市民からの通報による個人・事業者への指導を行った。野焼きパトロールを実施し、行為者への指導を行った。	広報いんざいによる野焼き行為禁止の普及啓発を行うことにより、事業者や市民へ周知することができた。 市民からの通報による個人・事業者への指導を行ったことや、野焼きパトロールを実施し、行為者への指導を行ったことにより、大気汚染の防止に繋がった。
公園や公共公益施設の整備には、大気浄化能力の高い「環境木」を優先的に選定します。	生活環境課	平成19年度は公用地内での植樹・植え替えの予定がなかった。 環境木に関する情報収集を行った。	環境木に関する情報は少なく、関係課に情報は提供することができなかった。

● 悪臭防止対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
悪臭を放つおそれのある施設及び物質について、管理者への指導を行います。	生活環境課	悪臭を放つおそれのある施設等の管理者への指導を行った。	悪臭を放つおそれのある施設等の管理者への指導を行い、悪臭対策に努めさせることができた。
悪臭を放つおそれのある施設などの臭気測定を実施し、悪臭軽減のための調査・研究を行います。	生活環境課		

● 監視・測定の継続実施

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
一般環境大気測定局(高花)での大気汚染の実態調査を継続し、県や周辺市町村と連携して大気汚染対策を進めます。	生活環境課	一般環境大気測定局(高花)での大気汚染の実態調査を継続実施した。県・周辺市町村と連携し、悪臭の放つおそれのある施設への指導を実施した。	一般環境大気測定局(高花)での大気汚染の実態調査を継続実施し、現況を把握することができた。また、県と連携し、悪臭の放つおそれのある施設への指導を実施し、悪臭対策に努めることができた。
情報交流など周辺市町村と連携して悪臭防止対策を進めます。	生活環境課		

■ 個別目標⑦ 水や土をきれいにする

● 排水対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
環境にやさしい石鹼や洗剤を使用するなど、生活排水に関する普及啓発を図るとともに、市民の活動を支援します。	生活環境課	NPO団体等の協力を得ながら生活排水に関する普及啓発をすることができた。また啓発物資として再生石鹼を配布した。	環境イベント等を通じて、生活排水に関する普及啓発が図れたと考える。
工場・事業場などからの排水に対する指導を行います。	生活環境課	水質汚濁のおそれのある施設等への立入・指導を実施した。	水質汚濁のおそれのある施設等の管理者への指導を行い、水質汚濁防止に努めることができた。
公共下水道の整備、合併処理浄化槽の設置を推進します。	上下水道課	小林地区公共下水道(3工区) A=2.7ha	小林地区公共下水道(3工区) A=2.7ha 計画的に整備が進められた。
公共下水道の整備、合併処理浄化槽の設置を推進します。	生活環境課	合併処理浄化槽の設置補助金の継続実施及び設置推進のための啓発活動を実施 合併処理浄化槽補助:82基 転換補助:53基	生活排水対策のための補助及び設置推進のための普及啓発を図れたと考える。
公共下水道の接続率(水洗化率)の向上のためのPRに努めます。	上下水道課	下水道の日(9月10日)に合わせて啓発物資を配布。下水道新規整備地区(小林3工区)の住民への説明会を実施:21人参加	下水道新規整備地区の住民に接続について直接説明しているため、水洗化向上に貢献できた。

● 監視・測定の継続実施

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
河川水、地下水(地下水位を含む)、工場排水などの定期監視体制を整備します。	生活環境課	公共水域・地下水の測定を継続実施した。 河川:7河川(年4回測定) 地下水:35地点	公共水域・地下水の測定を継続実施したことにより、現況を知ることができた。
県や周辺市町村と連携して水質汚濁の防止対策を進めます。	生活環境課	印旛沼・手賀沼の水質改善のため、県・周辺市町村と連携して、普及啓発及び浄化対策事業を実施した。 合併処理浄化槽の設置補助金の継続実施及び設置推進のための啓発活動を実施した。	印旛沼・手賀沼の水質改善のための普及啓発及び浄化対策を進めることができた。 合併処理浄化槽の設置補助を継続して実施したことにより生活排水対策が進んだ。
市民などによる水質調査を支援します。	生活環境課	自然探検隊を開催した際に、参加者にバックテストを実施してもらい、水質に対する意識高揚を図った。	自然探検隊参加者に、水質保全に対する意識を持っていただくことができた。

● 土壌汚染・地下水対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
環境負荷の少ない環境保全型農業を推進します。	産業振興課	農業用廃プラスチックの回収を支援した。 廃プラ回収量:31.6t	農業用廃プラスチックの回収を支援した。
産業廃棄物の不法投棄や不法な残土の埋立てなどの防止のため、監視体制の強化・普及啓発を図ります。	生活環境課	不法投棄防止パトロール、不法投棄監視員による監視体制を継続実施した。 広報・ホームページによる不法投棄防止の情報提供を行った。 不法投棄防止パトロール回数: 150回(委託)19回(職員) 広報掲載回数:2回	職員によるパトロール、不法投棄監視員による監視活動に加え、委託による夜間パトロールを早朝及び深夜を中心に実施し、ダンプなどによる大規模な産業廃棄物の不法投棄防止に効果を上げた。
工場・事業場・建設作業における汚染防止のための指導を行います。	生活環境課	土壌・地下水汚染のおそれのある施設等の管理者への指導を行う。	土壌・地下水汚染のおそれのある施設等の管理者への指導を行い、汚染対策に努めることができた。
雨水浸透施設の普及を進めます。	上下水道課	開発行為等の申請がある際には、申請者に透水性舗装、雨水浸透マス、浸透性貯留層の設置をしていただけるよう要望した。【生活環境課】	申請者に雨水浸透施設の設置をお願いした。設置を実施していただけなかった場合、緑地の確保などにより、地下水浸透をいただけた。
地下水の適切な利用について、指導・普及啓発を行います。	生活環境課	県と連携し、揚水施設管理者へ年間揚水量の報告を実施した。	県と連携し、揚水施設管理者へ年間揚水量の報告を実施することにより、現況を把握することができた。
町営塵芥焼却場跡地の環境調査を実施します。	生活環境課	継続してモニタリング調査を実施するとともに、職員による簡易水質調査を実施した。	モニタリング調査の結果からは、特に汚染物質の流出はなかった。

■ 個別目標⑧ 騒音や振動などを低減する

● 自動車の騒音・振動対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
アイドリングストップなど、環境にやさしい運転の普及啓発を図ります。	生活環境課	千葉県で実施している窒素酸化物に係る冬季対策①自動車使用を控える②アイドリングストップなどの実施③ノーカーデーの実施を広報により普及啓発を図った。 広報掲載回数:1回	広報で市民に呼びかけることにより意識啓発を図ることができた。
道路の適正な維持・管理を進めます。	土木管理課	当該年度に発生したもの及び要望等により実施。	道路維持工事:4箇所 道路補修工事(市内全域)
騒音・振動の実態調査を継続し、県や周辺市町村と連携して騒音・振動対策を推進します。	生活環境課	道路交通騒音・振動の実態調査を実施した。 国道464号線(原山2丁目地区) 航空機騒音の実態調査を実施した。(小林地区)	道路及び航空機の騒音・振動調査を実施したことにより、現況を把握することができた。 なお、道路交通騒音振動については、関係機関に測定結果を基に騒音振動対策を依頼した。

● 工場・事業所などからの騒音・振動対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
工場・事業場・建設作業における騒音・振動防止のための指導を行います。	生活環境課	騒音・振動を出すおそれのある施設・作業について、防止のための指導を行った。	騒音・振動を出すおそれのある施設・作業について、防止のための指導を行うことにより、事業者等への騒音振動対策に関する意識や改善をさせることに努めることができた。
飲食店などの深夜営業、拡声器の使用による騒音防止の指導を行います。	生活環境課	開発行為の意見照会に拡声器の使用による騒音防止の啓発・指導を行った。	開発行為の意見照会に拡声器の使用による騒音防止の啓発・指導を行うことにより、騒音対策をすることに努めることができた。
生活騒音についての知識やモラルの普及啓発を図ります。	生活環境課	生活騒音の防止の為にポスターを掲示し、啓発を行った。	生活騒音の防止の為にポスターを掲示し、啓発を行ったことにより、騒音に関する意識を持たせることに努めた。

● 光害対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
住民や動植物等への影響を考慮し、ネオンサインなど屋外照明の適正化を指導します。	生活環境課	開発行為の意見照会に屋外照明の適正使用の啓発・指導を行った。	開発行為の意見照会に屋外照明の適正使用の啓発・指導を行ったことにより、屋外照明の適正化を図ることができた。
街路灯などは周辺環境を踏まえた上で適切に設置します。	土木管理課	設置箇所:0	過度の設置はしていない。

■ 個別目標⑨ 有害化学物質による汚染を防ぐ

● 有害化学物質の排出防止対策

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
小型焼却炉の適正使用を含め、野焼き防止の指導を行います。	生活環境課	広報いんざいによる野焼き行為禁止の普及啓発を行った。市民からの通報による個人・事業者への指導を行った。野焼きパトロールを実施し、行為者への指導を行った。	広報いんざいによる野焼き行為禁止の普及啓発を行うことにより、事業者や市民へ周知することができた。 市民からの通報による個人・事業者への指導を行ったことや、野焼きパトロールを実施し、行為者への指導を行ったことにより、大気汚染の防止に繋がった。
環境負荷の少ない環境保全型農業を推進します。	産業振興課	農業用廃プラスチックの回収を支援した。 廃プラ回収量:31.6t	農業用廃プラスチックの回収の支援した。
ごみの減量化・資源化のため、資源ごみの分別を指導します。	生活環境課	ごみ減量化・資源化のため市民・団体等への説明会を開催した。 説明会回数:2回 施設見学会:1回 店頭説明会:10日	資源ごみの分別方法が理解され、ごみの減量化、資源化が促進された。
公共施設内の緑の維持管理には、除草剤・殺虫剤・殺菌剤を必要以上に使用しません。	関係各課	害虫の発生状況を確認しながら害虫駆除を行ったため、薬剤使用量が減少した。	薬剤による害虫駆除を最小限に留め、薬剤の飛散を抑制した。樹木の剪定を行うなど、害虫の発生を抑える環境を整えた。
有害化学物質汚染が確認された場合、原因究明とその再発防止の指導を行います。	生活環境課	県及び一部事務組合と連携し、ダイオキシン類の測定を継続実施した。 また、水質・土壌検査を市内で実施した。	県及び一部事務組合と連携し、ダイオキシン類の測定を継続実施したことにより、現況を把握することができた。また、結果を公表して周知することができた。
印西クリーンセンターの適正な設備管理を行い、恒久的なダイオキシン類対策を継続実施します。	生活環境課	印西クリーンセンターの適正な設備管理を行うことを確認し、恒久的なダイオキシン類対策を実施した。また、ダイオキシン類の測定結果の公表を行った。	印西クリーンセンターの適正な設備管理を行うことを確認し、恒久的なダイオキシン類対策を実施した。また、ダイオキシン類の測定結果の公表を行った。
県や周辺市町村、一部事務組合などとも連携して、有害化学物質対策を進めます。	生活環境課	県や周辺市町村、一部事務組合などと連携して、有害物質の発生源対策を実施した。	県や周辺市町村、一部事務組合などと連携して、有害物質の発生源対策を実施した。

● 有害化学物質に関する情報の収集・提供

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
ダイオキシン類の調査を実施し、情報を提供します。	生活環境課	県及び一部事務組合と連携し、ダイオキシン類の測定を継続実施した。	県及び一部事務組合と連携し、ダイオキシン類の測定を継続実施したことにより、現況を把握することができた。また、測定結果を公表することができた。
県や周辺市町村とも連携して、有害化学物質の情報収集に努めます。	生活環境課	また、水質・土壌検査を市内で実施した。	
PRTR 制度などの新たな取組みについて、市民・事業者に分かりやすく情報を提供します。	生活環境課	公害防止情報等について、広報いんざい及びパンフレット等により情報提供を実施した。	公害防止情報等について、広報いんざい及びパンフレット等により情報提供を実施した。

■ 個別目標⑩ エネルギーを有効に利用する

● 省資源・省エネルギーの推進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
低公害車や公共交通機関の利用促進に向け呼びかけを行います。	生活環境課	千葉県で実施している窒素酸化物に係る冬季対策①自動車使用を控える②アイドリングストップなどの実施③ノーカーデーの実施を広報により普及啓発を図った。 広報掲載回数:1回	広報で市民に呼びかけることにより意識啓発を図ることができた。
公用車やふれあいバスに低公害車を導入します。	管財課	普通乗用車5台入替	古い車を低公害車への入替えを行った
環境家計簿などを通して電気、ガス、ガソリンなどの使用節減を呼びかけます。	生活環境課	引き続き、環境推進市民会議の協力を得て、環境行動指針(環境家計簿付)を作成した。 また、イベントの際に、環境推進市民会議委員が普及啓発を実施した。	環境行動指針を全戸配布し、環境推進市民会議委員が環境家計簿の普及啓発を実施したことにより、市民の環境保全意識の高揚が図れた。
省資源・省エネルギーに関する取組みを市民などにわかりやすく情報提供します。	生活環境課	環境行動指針(ecoカレンダー)に省資源・省エネルギーに対する市民の取り組み及び市民向けに太陽光発電システム等補助金制度を掲載し、普及啓発を実施した。	環境行動指針を全戸配布し、環境推進市民会議委員が普及啓発を実施したことにより、市民の環境保全意識の高揚が図れた。
公共施設での省エネルギーを推進します。	生活環境課	庁内エコプランにより、各課等に環境推進主任を設置し、市庁舎等での省エネルギーを推進した。	庁内エコプランの推進により、公共施設での省エネルギー化を図ることができた。
建物の断熱化など、エネルギー効率の良い施設の整備を推進します。	生活環境課	引き続き、環境推進市民会議の協力を得て、環境行動指針(環境家計簿付)を作成した。 また、イベントの際に、環境推進市民会議委員が普及啓発を実施した。	環境行動指針を全戸配布し、環境推進市民会議委員が環境家計簿の普及啓発を実施したことにより、市民の環境保全意識の高揚が図れた。
公共施設などにおける雨水貯留施設の導入を図ります。	管財課	事業なし。	事業なし。

● 新しいエネルギーの推進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
太陽熱などの自然エネルギーの利用に向けた情報提供、普及啓発を図ります。	生活環境課	環境行動指針(ecoカレンダー)に省資源・省エネルギーに対する市民の取り組み及び市民向けに太陽光発電システム等補助金制度を掲載し、普及啓発を実施した。	環境行動指針を全戸配布し、環境推進市民会議委員が普及啓発を実施したことにより、市民の環境保全意識の高揚が図れた。
公共施設での太陽熱などの自然エネルギーの導入を図ります。	生活環境課	引き続き、公共施設の改修時には、積極的に太陽光などの自然エネルギーの導入を検討するよう申し入れた。	改修、建設の予定のある公共施設で太陽光発電システムを設置することとなり、普及啓発の促進に繋がった。
印西クリーンセンターなどから発生する熱エネルギーの有効利用を促進します。	生活環境課		

■ 個別目標⑪ ごみの量を減らし、資源の循環を進める

● ごみの排出抑制

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
ごみの排出量、資源化状況、ごみの分け方・出し方などについての情報提供体制の拡充を図ります。	生活環境課	広報・ホームページによる情報提供を実施した。 ごみの減量化・資源化のため市民・団体等への説明会を開催した。 広報掲載回数:9回 説明会回数:2回 店頭説明会:10日 見学会:1回	広報・ホームページにより周知を図り、説明会を開催し、ごみ処理状況を確認してもらうことができた。
マイバッグの利用を普及・促進し、レジ袋の削減を図ります。	生活環境課	マイバッグ促進事業を実施し、マイバッグ使用の推進を行った ノーレジ袋デーの定着を図った。	マイバッグ使用の促進が図られた。
ごみ問題に関して興味関心を持てる機会をつくり、正しい理解を深めるとともに、市民などの自発的なごみ減量活動を支援します。	生活環境課	広報・ホームページによる情報提供を実施した。 ごみの減量化・資源化のため市民・団体等への説明会を開催した。	大型スーパー等において、ごみの分け方・出し方などについての啓発事業を実施し、市民に分別等の認識を深めてもらうことが出来た。
指定ごみ袋により、分別排出・適正排出の徹底を促進するとともに、ごみの発生抑制・減量意識を高めます。	生活環境課	広報掲載回数:9回 説明会回数:2回 店頭説明会:10日 見学会:1回	
「環境にやさしい行動」を市民にエコモニターとして認定・実践してもらい、広く紹介することにより、意識啓発を図ります。	生活環境課	引き続き、環境推進市民会議の協力を得て、環境行動指針(環境家計簿付)を作成した。 また、イベントの際に、環境推進市民会議委員が普及啓発を実施した。	環境行動指針を全戸配布し、環境推進市民会議委員が環境家計簿の普及啓発を実施したことにより、市民の環境保全意識の高揚が図れた。
「生ごみ減量化機器等購入補助金交付事業」のPR強化による生ごみ処理容器・生ごみ減量機器の普及促進など、生ごみ減量堆肥化を推進します。	生活環境課	広報、ホームページ等での「生ごみ処理容器等購入補助金交付事業」の普及啓発を実施した。 補助基数:57基	生ごみ処理容器等の普及による生ごみ減量化、資源化が推進された。
ごみ有料化について、事業系ごみのみならず家庭系ごみについても段階的な取組みを検討していきます。	生活環境課	ゴミ処理の一元化について検討することが先決となったことから、ごみの有料化について、検討を実施していない。	今後の体制を考慮に入れ、家庭ごみの有料化を段階的に引き続き検討する。

● 再使用化・資源化の推進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
常に資源物を排出できる施設の設置や資源収集日の増設など、資源物収集体制の整備を検討します。	生活環境課	廃食油の回収を市役所及び各公民館・出張所で実施した。	今後の体制を考慮に入れ、また、ごみの減量化、減量化を推進するため資源物収集体制の整備を検討する。
自発的なリサイクルシステムの促進のため、有価物集団回収事業を広く周知し、資源回収の基盤となるよう一層の拡充に努めます。	生活環境課	ホームページ等での「有価物集団回収事業」のPRを継続掲載した。 登録団体数:90団体	有価物集団回収量、参加団体数の増加が見られ、自発的なリサイクルシステムが促進された。
市役所や市出先機関などにおいて、リサイクル品の積極的な購入使用などを率先して実行します。	生活環境課	庁内エコプランの説明を実施するとともに、印西市グリーン購入推進指針の説明を行い、実施を依頼した。	印西市グリーン購入推進指針の周知により、グリーン購入が実施された。
積極的な再使用を進めるため、不用品情報交換コーナーの利用促進を図ります。	生活環境課	広報・ホームページ等での「不用品情報交換コーナー」の情報を掲載した。 広報掲載回数:12回 ホームページ:常時掲載	不用品情報交換コーナーの利用がされ、再利用が促進された。
市内の小売店に対し、簡易包装やリサイクル商品の販売、資源物の店頭回収などについて協力を呼びかけるなど、販売店協力体制を確立します。	生活環境課	マイバッグ推進事業を推進した。マイバッグ普及促進協力店制度の周知に努め、ノーレジ袋デーの定着を図った。	マイバッグ推進事業を推進した。マイバッグ普及促進協力店制度の周知に努め、ノーレジ袋デーの定着を図った。
リサイクルセンターなどの施設整備についての検討を進めます。	生活環境課	平成19年度当初より事業計画なし	今後の体制や考慮に入れ、ごみの減量や資源化のため、施設整備についての検討を図る。

■ 個別目標⑫ 不法投棄やポイ捨てをなくす

● 不法投棄・ポイ捨ての防止

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
不法投棄監視パトロールを強化します。	生活環境課	不法投棄防止パトロール、不法投棄監視員による監視体制を継続実施した。	委託及び職員によるパトロール、不法投棄監視員による監視活動を実施し、不法投棄防止に効果を上げた。
不法投棄に対する通報制度の整備を進めます。	生活環境課	広報・ホームページによる不法投棄防止の情報提供を行った。	市民及び監視員からの通報に加え、警察・消防署等関係機関と連携を取ることで通報制度の整備が図られた。
不法投棄・ポイ捨てに関する意識啓発を図ります。	生活環境課	不法投棄防止パトロール回数: 150回(委託)19回(職員) 広報掲載回数:2回	広報を利用し、不法投棄に関する情報提供及び土地所有者への不法投棄対策を呼びかけ、意識啓発に努めた。
「(仮称)ポイ捨て禁止条例」の制定を検討します。	生活環境課	印西市歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例を施行し、指導員によるパトロールを実施。 パトロール日数:32日	印西市歩行喫煙、ポイ捨て等防止条例を施行した。 また、指導員によるパトロールの実施及び広報等による啓発により、生活環境に対する意識及びモラルの向上を図られた。
土地の所有者への情報提供・意識啓発により、不法投棄の防止を図ります。	生活環境課	広報・ホームページによる不法投棄防止の情報提供を行った。 広報掲載回数:2回	広報を利用し、不法投棄に関する情報提供及び土地所有者への不法投棄対策を呼びかけるとともに、不法投棄の可能性の高い土地所有者へは個別に連絡をとり、防止対策を講じてもらうよう呼びかけを行った。
不法投棄防止のための看板を作成し、市民・事業者へ貸与します。	生活環境課	市民への不法投棄防止のため看板の貸与を実施した。 貸与件数:7件	市民へ不法投棄防止看板を貸与し、不法投棄防止への意識啓発を図った。

● 環境美化活動の推進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
環境美化に対する意識啓発を図ります。	生活環境課		
「ゴミゼロ運動」、「クリーン印西推進運動」を継続実施します。	生活環境課	「ゴミゼロ運動」「クリーン印西推進運動」を継続実施した。 ゴミゼロ運動参加者:9,771人 クリーン印西推進運動参加者: 延べ34,577人	ゴミゼロ運動、クリーン印西推進運動を通して、延べ44,348人の参加をいただき、市民の環境美化意識の向上を図ることができた。
市民や各種団体などの環境美化活動を支援します。	生活環境課		

基本目標3 みんなで環境を育てる“しくみづくり”

■ 個別目標⑬ 環境情報のネットワークをつくる

● 環境情報の収集・提供

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
「印西市環境マップ」を作成します。	生活環境課	環境指標生物のモニタリング調査(魚類・両生類)を開催した。 参加実績:105名	市民参加型の調査により、市内全域の魚類・両生類の生息状況を調査することができた。
インターネットや広報などで環境情報を提供します。	生活環境課	広報掲載回数:24回 ホームページ更新回数:12回	ホームページや広報紙で様々な環境情報を提供することにより、市民に意識啓発を図ることができた。
図書館では期間限定で環境に関する資料の紹介を行います。	図書館	昨年度小林図書館にて「環境・エコロジーリサイクル」に引き続き、今年度はそうふけ図書館にて「地球温暖化」をテーマに本の展示を行なった。展示した冊数は40冊位。	現在話題のテーマでもあったので、より多くの利用者に資料提供できた。
学校図書館では環境に関する書籍を充実させ、環境コーナーの設置を検討します。	学校教育課	市内各校で環境に関する書籍を購入。 市内小中学校14校に於いて、環境コーナーを設置。	環境に関する蔵書も少しずつ増えてきた。環境コーナーでは、掲示物や展示物などが充実してきた。
地球環境問題や市の環境に関する情報を適切に発信していきます。	生活環境課	広報掲載回数:24回 ホームページ更新回数:12回	ホームページや広報紙で様々な環境情報を提供することにより、市民に意識啓発を図ることができた。
学校教育のための環境に関する情報や教材を提供します。	生活環境課	環境白書・環境行動指針などを小・中学校に配布し、授業での活用を依頼した。	印西の環境を知る上で必要な資料及び環境教育に必要な資料を提供することができた。

● 環境情報の交流促進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
環境モニター制度を創設し、市民・事業者との情報交流に努めます。	生活環境課	環境基本計画の見直し、環境白書の作成に当たり、環境推進市民会議・事業者会議の意見を伺った。	環境推進市民会議、事業者会議の協力を得て、環境基本計画改訂版・環境白書を作成し、各施設等及びホームページで公表することができた。
市民や学校などの協力・連携のもと「印西市環境白書」を作成し、市民・事業者等へ公開します。	生活環境課		
インターネットを利用した環境情報システムを整備します。	生活環境課	広報掲載回数:24回 ホームページ更新回数:12回	ホームページや広報紙で様々な環境情報を提供することにより、市民に意識啓発を図ることができた。

■ 個別目標⑭ 環境について学び、理解する

● 環境イベントなどの充実

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
環境関連施設の見学会や市民参加の環境調査など、環境に関するイベント等を企画・開催し、普及啓発を図ります。	生活環境課	環境関連施設の見学会、環境フェスタ、市民参加型のモニタリング調査を継続的に実施した。 また、今年度は市民主体で手賀沼フォーラムのプレイベント(「不都合な真実」の上映会)が開催され、その協力を実施した。	各種イベントの開催、調査の実施により、市民の環境に対する意識の高揚を図ることができた。
環境に関する生涯学習を推進します。	中央公民館	市民アカデミー1年生のプログラム中、環境学習をテーマに4回実施。	講義、実習を通して参加者の意識啓発を図ることができた。
	小林公民館	エコカレンダーを使って環境保全に対する具体的な取り組み方を学習した。 (参加者:26名)	市民の環境保全に対する意識を高めることができた。
市民・事業者などが開催する環境に関するイベントを支援します。	生活環境課	市民主体で手賀沼フォーラムのプレイベント(不都合な真実の上映会)が開催され、広報による啓発、会場準備など支援を行った。 また、市民・事業者等が実施するイベントの後援を実施した。	市民主体によるイベントの開催が実施されたことにより、市民間での環境に対する意識の高揚を図られた。

● 学習教材の充実、指導者の育成

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
環境学習パンフレット、教材を収集・整理し、提供します。	生活環境課	モニタリング調査の報告書、環境白書、環境行動指針などを関係各機関に提供した。	学校などに関連資料を配布し、教材として活用を依頼したが、子供向けの資料を作成する必要があると考えられる。
市職員の環境研修を実施し、環境に関する理解を深めます。	生活環境課	引き続き、各課等に環境推進主任の設置を行い、庁内エコプランの説明、取り組みの推進を依頼した。	庁内エコプランの継続推進により、職員の意識向上が図られた。
指導者の育成や交流を進めます。	生涯学習課	青少年ふれあいキャンプを開催し、身近な自然と親しむことを指導した。	子供たちにキャンプを通して自然の中で自分の力で行動し、身近な自然と親しむことを指導できた。
学校などの要請に応じて、適した指導者を派遣できるように、指導者リストを整理します。	学校教育課	学校支援ボランティアリストに347名の登録があり、292名が活用された。 (活用率:84.1%) 出前講座で、教育センターの職員が小学校で講座を行った。	学校支援ボランティアリストを作成し、その中に環境学習指導者も登録することにより、環境学習への取り組みを促進することができた。 また、環境に関わる出前講座を実施することができた。

● 学校における環境教育・環境学習の推進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
体験学習を取り入れた環境教育・環境学習を推進します。	生活環境課	自然観察会を4回実施し、浦部地区、船穂地区などの谷津田環境の保全及び動植物の保全について普及啓発を行った(参加者:123人)。ただし、小林地区の探検隊は、人数不足のため中止。	河川を中心に自然観察会を開催し、参加者に生息する生物の実態及び河川の状況を確認してもらうことができた。
小・中学校での環境に関する学習内容の充実を図ります。	学校教育課	環境学習の充実を図るため、研修や学校訪問を行った。 各校で社会人活用も行われた。 教育センターで行われた里山観察会等について、実践事例を各校に示した。	総合的な学習、国語、社会科、技術・家庭科、特別活動等で積極的に環境学習が取り入れられ、充実が図られた。 教育センターで行われた里山観察会等について、実践事例を各校へ広めることができた。
情報提供を行うなど、こどもエコクラブの設立を支援します。	生活環境課	エコクラブに対し、必要な情報及び資料等の提供を行なった。	情報等の提供はできたが、参加団体を増やすことはできなかった。

■ 個別目標⑮ 環境活動を進める

● 地域における環境活動の推進

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
「ゴミゼロ運動」や「クリーン印西推進運動」など、地域での環境保全活動を継続的に実施します。	生活環境課	「ゴミゼロ運動」「クリーン印西推進運動」を継続実施した。 ゴミゼロ運動参加者:9,771人 クリーン印西推進運動参加者: 延べ34,577人	ゴミゼロ運動、クリーン印西推進運動を通して、延べ44,348人の参加をいただき、市民の環境美化意識の向上を図ることができた。
地域で活動する団体など、市民や事業者の自主的な環境活動を支援します。	市民活動推進課	各町内会等でゴミゼロ運動や定期的に環境活動を行った。	環境に対する住民意識を高めることと同時に住民同士の交流を深めることができた。
「(仮称)環境リーダー研修」を行うなど、地域の環境活動を推進する指導者の育成を支援します。	生活環境課	県主催の環境講座の紹介をし、市民参加を促した。	県等で主催する環境講座の紹介はできるが、市独自での環境講座開催には至っていない。
「印西市環境行動指針」を策定します。	生活環境課	環境行動指針市民編を環境推進市民会議の協力を得て作成し、町内会・自治会を通じて配布した。	環境行動指針を普啓発し、環境保全への意識高揚を図ることができた。
「庁内エコプラン」に基づいて、市の事務・事業における環境配慮を進めます。	生活環境課	環境推進主任の設置を各課等に依頼し、庁内エコプランの推進を依頼した。	庁内エコプランの継続推進により、職員の意識向上が図られた。

● パートナーシップの構築

個別目標の達成に向けた取組み	担当課	平成19年度終了時進捗(実施)状況	平成19年度事業の評価
環境活動の組織づくり、人づくりを進めます。	生活環境課	環境推進市民・事業者会議を継続して開催し、平成19年度は環境基本計画の見直しを実施したことから、意見を伺った。また、環境行動指針市民編の作成に協力をいただいた。	環境基本計画の見直し、環境行動指針の作成に対し意見をいただき、活用推進に対しては、会議で話し合い、公民館イベントに参加し、環境行動の啓発を実施していただいた。
環境活動に関する情報提供・情報交流に努めます。	生活環境課	環境推進市民会議開催:年6回 環境推進事業者会議開催:年3回	環境推進会議を必要に応じて開催した。また、会議とは別に委員の意思でイベント参加など決め、普及啓発を実施した。
「印西市環境推進会議」を定期的に開催します。	生活環境課	環境推進市民・事業者会議を合同で開催し、意見の抽出、意見交換を実施した。	環境基本計画の見直し及び環境白書の作成に際し、意見を抽出することができた。また、基本計画の見直しに際し、パブリックコメントを実施し、市民より意見をいただいた。